

令和5年度事業報告書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

社会福祉法人 桂の泉

令和5年度事業報告書

法人を設立して16年、学園を設立して15年を迎えた。

今年度は30名の利用者でスタートした。新規や復帰の利用者はなかった。

8月末付けで1名が生活と就労意識の心機一転を図るため、他の事業所移籍に伴い退所となった。また10月末付けで1名がグループホーム入所に伴い一旦退所となった。

当年度も新型コロナウイルスの影響を受けた。一昨年2月のような集団感染はなかったが、複数の利用者が感染した。感染予防対策や適切な自宅療養等により、感染拡大を防ぐことができた。新型コロナウイルスの影響は特に下請け部門に大きく残っており、就労支援収入も昨年度実績よりも微増にとどまっている。

今年度も長期の欠席利用者（母親の介護と病気療養）が2名おられ、出席率の低下につながったが、1名は母親の介護施設入所に伴い1月より通所再開した。もう1名は再開に向け学園に来訪するなど行動を開始している。

当年度は猛暑が原因の体調不良、家庭の事情、ショートステイ、コロナワクチンの副反応等、欠席理由も多岐にわたった。

1. 令和5年度の法人運営

(1) 福祉事業活動について

障害福祉サービス費（訓練等給付費）（京都府国保連）	44,552,778円 (前年比 104.3%)
物価高騰対策支援金（計3回）	842,781円
計	45,395,559円

(2) 社会福祉充実計画について

社会福祉充実計画に基づいて、グループホームの開設準備に向けた調査検討を継続した。

2. 令和5年度の桂の泉学園の運営

(1) 利用者状況について

- ・利用者数 30名
新規通所者0名、退所者2名
- ・3/31 現在（利用者28名）の障害内訳（手帳上の内訳）重複1名は計上せず。
知的障害 26名
身体障害 1名
精神障害 1名
- ・出席率 83.9%（昨年度は84.0%）

(2) 利用者支援について

- ・就労支援事業について
収入 7,770,564円
(前年比 103.9%)
(当年度は京都市就労継続支援B型工賃補償補助金はなし)

a.喫茶部門

観光客数が復活し、また施設の貸し切り営業等もあり売り上げは増加した。また原材料費等高騰により、1月より価格改定を行った。

収入額 2,677,770 円
(前年比 120.4 %)

b. 下請け部門

原材料費が必要ないため作業量のみ利益があることが利点である。利用者の障害特性に合わせた作業内容を組むことができ、誰でも参加できる。取引企業様も新型コロナウイルスの影響を受けた模様で、受注する仕事量が減り、2年連続の減収となった。

収入額 3,561,336 円
(前年比 96.0 %)

c. 自主製品部門

縫製製品作りを中心に、曜日を固定して「山吹」にて作業を行っている。ミシンの作業は集中力の持続と器用さが必要で、従事できる利用者は少ない。担当職員の育児休業もあり、生産力が大きくダウンした。今後も新たな製品開発や生産量を増やすことが課題である。

収入額 70,550 円
(前年比 91.4 %)

d. 出張清掃部門

京都市上下水道局の鳥羽水環境保全センターと京都市消防局消防学校管理の公園を週に各2回ずつの計4回作業を行っている。他の部門と比較しても収益率は高い。ただ、屋外での作業で季節によっては労働環境は過酷であり、従事する利用者はどうしても限られてしまう。

収入額 1,460,908 円
(前年比 99.2 %)

・ 工賃支払総額（ボーナスを含む、年度単位の報酬） 5,629,910 円
(前年比 98.0 %)

在籍者一人あたりの平均工賃月額 16,178 円 (昨年度は 15,698 円)
※長期欠席者を除いた平均工賃は 17,217 円

・ 年間開所日数 252 日 出席率 83.9 % (前年度は 84.0 %)

・ 土曜開所

計 11 回開催 延べ 139 名参加 平均参加利用者数 12.6 名
(前年度：計 8 回開催 延べ 102 名参加 平均参加利用者数 12.8 名)

(3) 職員体制について

正職員 5 名
嘱託職員 2 名
パート職員 1 名 (1 月より育児休業中)
その他喫茶業務委託先 (シルバー人材センター) より 3 名
常勤 7 名、パート 1 名、派遣 3 名 計 11 名 (1 名が育休中)

(4) 安心・安全の確保と防災対策

・ 避難訓練の実施 (2 回)

(5) 実習生の受け入れ等について

- ・施設見学（研修）者等
 - 4/18 府下相談支援事業所相談員1名見学
 - 5/22 20歳女性（チャレンジ就労体験事業利用者）：その後実習
 - 7/5 下請け取引企業（障害者雇用実施中）5名見学研修
 - 7/10 西総合支援学校保護者10名見学
 - 7/26 西総合支援学校教員5名見学研修
 - 8/31 同志社大学メディカルワークショップ A 日程3名
 - 9/6 49歳男性
 - 9/15 同志社大学メディカルワークショップ B 日程4名
 - 10/23 西総合支援学校保護者10名見学
 - 11/17 白河総合支援学校2年生男性見学
 - 12/12 西総合支援学校PTA 9名見学（WEB放送）
 - 2/20 西総合支援学校2年生女性見学：その後実習
- ・実習生等
 - 6/8～1/16 20歳女性（チャレンジ就労体験事業利用者）：その後ボランティアとして活動
 - 3/5～6 西総合支援学校2年生女性

(6) 余暇支援・社会見学活動等について

- ・京都とっておきの芸術祭への出展
 - 12/1～3 於：みやこめっせ（計3名の利用者が絵画と書を出展）
- ・実施行事
 - ・6/23 「初夏の日帰りバス旅行」：神戸どうぶつ王国方面
 - ・7/3 アマチュアバンド演奏会：活動ボランティア所属の「モンキーポッド」による演奏会
 - ・11/25 「桂の泉学園開設15周年記念事業」：喫茶いづみ特別メニュー昼食会と「モンキーポッド」による記念コンサート
 - ・12/21 「伊勢おかげ参り」：伊勢神宮内宮、二見浦
 - ・2/10 熊本県玉名市野菜振興協議会との交流事業（イチゴ等の寄贈）

※2回の旅行は貸し切りバスの台数を倍に増やし、一人あたり2座席とし、バス会社の感染予防ガイドラインに従って行動した。

(7) 職員の資質向上、労働環境改善のための取り組み（研修会等の参加）

- ・職員参加外部研修・会議等
 - 6/8 日本年金機構主催：算定基礎届事務講習会（事務職員）
 - 6/27 市主催：社会福祉法人役員等研修会・指導監査等説明会（施設長）
 - 9/20 京都市社会福祉協議会主催：利用者の声を聴く（女性支援員）
 - 9/26 京都市身体障害児者父母の会連合会70周年祝賀会（施設長）
 - 12/7 京都懇談会主催：人権セミナー（男性支援員）
 - 12/8 第31回西京区社会福祉大会（施設長）
 - 12/11 市主催：障害者虐待防止に係る事業所及び施設従事者向け研修（男性支援員）
 - 1/12,2/21 京都府社会福祉協議会主催：令和5年度京都府サービス管理責任者更新研修（主任）

(8) 地域の活動への参加、社会貢献活動

- ・京都市福祉避難所事前指定
- ・京都市災害時協力井戸登録
- ・地域のイベント等への参加＝新型コロナウイルスのため中止
- ・桂東学区社会福祉協議会会議・研修会への職員派遣（主任）
- ・近隣の地域密着型サービス事業者の運営会議への参加（施設長）＝中止
- ・加盟団体主催行事への職員派遣＝中止
- ・チャレンジ就労体験事業の受託（地域の不就労生活保護受給者の実習受け入れ）と修了者のボランティアとしての受け入れ
- ・生き方探求・チャレンジ体験推進事業における地域中学生の受け入れ＝中止
- ・西京安心安全花いっぱい運動への参加
- ・第二作業場「山吹」の学区社協事業への貸し出し

3. その他

(1) ボランティア

地域の中高齢者を中心に16名が登録

(2) 新型コロナウイルスの対応について

桂の泉学園では令和4年2月に利用者4名と職員3名が感染し、施設は約2週間臨時休業を余儀なくされた。令和5年5月に5類に移行されて以降も若干名の利用者や家族が感染した。いずれも一定期間の自宅待機や家庭内での徹底した対策で感染拡大はなかった。

○学園での具体的な感染対策等（5年度以降も継続）

- ・全職員対象に週2回の抗原検査の実施
- ・手洗い（医師による指導を受講）・うがい・手指の消毒の徹底
- ・マスク着用の徹底
- ・来園者全員の検温の実施と体調の聞き取り
- ・園内で3密を避けるような配慮
- ・換気の徹底
- ・二酸化炭素濃度計の主要箇所への設置
- ・デジタル酸素飽和度メーターの導入
- ・食堂と作業室に計4台の空気清浄機を設置
- ・共用部分の消毒の徹底
- ・昼食の2部制の実施とパーテーションの設置、黙食の指導
- ・朝礼、終礼での注意喚起
- ・文書による通所意思確認
- ・ワクチン接種の奨励
- ・喫茶いづみのガイドラインを遵守した営業
（お客様への消毒とマスク着用の依頼、座席を減らしてパーテーションの設置、座席・テーブルのこまめな消毒）